

琉球大学学術リポジトリ

沖縄県におけるhuman T-cell leukemia virus type I (HTLV-1)のtax genotype解析

メタデータ	言語: en 出版者: 琉球大学 公開日: 2018-04-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Sakihama, Syugo, 崎浜, 秀悟 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/39227

2018年 2月 9日

琉球大学大学院

保健学研究科後期課程委員会 殿

論文審査委員

主査 氏名 中尾 浩史

副査 氏名 原嶋 奈々江

副査 氏名 豊里 竹彦



学位（博士）論文審査及び最終試験の終了報告書

学位（博士）の申請に対し、学位論文の審査及び最終試験を終了したので、下記のとおり報告します。

記

申請者	専攻名 保健学	氏名 崎浜 秀悟	学籍番号	■■■■■■■■■■		
指導教員名	福島 卓也					
成績評価	学位論文	合格	不合格	最終試験	合格	不合格
論文題目	Human T-cell leukemia virus type I <i>Tax</i> genotype analysis in Okinawa, the southernmost and remotest islands of Japan : Different distributions compared with mainland Japan and the potential value for the prognosis of aggressive adult T-cell leukemia/lymphoma					
審査要旨（2,000字以内） 本論文は世界の中でも九州・沖縄を中心とする南西日本に最も多い、成人 T 細胞白血病・リンパ腫（ATL）などの原因となるレトロウイルス HTLV-1（Human T-cell leukemia virus type I）の <i>tax</i> の多様性に着目し、沖縄を中心に分布している HTVL-1 が九州を中心とする本土の HTVL-1 とは異なる系統であり、aggressive ATL の予後不良と深く関連していることを明らかにしており、博士論文として相応しいと判断した。 HTLV-1 は 5'-LTR, <i>gag</i> , <i>pro</i> , <i>env</i> , <i>pX</i> , 3'-LTR 領域で構成されるレトロウイルスである。日本は先進国の中では唯一 HTLV-1 の多くのキャリアが存在している。HTLV-1 キャリアは多かった九州沖縄地方では減少している一方、人口の移動により大都市を中心に全国に拡散する傾向があることが指摘されている。これまでの研究により HTLV-1 は 5'-LTR 領域の配列に基づき大きく 3 つのタイプに分類される。その一つ Cosmopolitan subtype はさらに 4 つの subgroup に分類され、日本人から						

(次頁へ続く)

審査要旨

見出される HTLV-1 の多くは Japanese subgroup に分類される。HTLV-1 は *tax* の塩基配列の違いから *taxA* と *taxB* (Japanese subgroup) の 2 つの genotype に分類でき、先行研究により鹿児島及び本州のキャリアは *taxB* genotype が主であると報告されていた。

申請者は ATL 患者の後方視的解析から、沖縄県における aggressive ATL 患者が本土の患者と比較して予後不良であることに着目し、沖縄県の HTLV-1 が本土の HTLV-1 とは異なる可能性を考え、aggressive ATL 患者の臨床的特徴や治療反応性、予後について *tax* genotype に着目し、比較検討した。沖縄県における HTLV-1 の *tax* genotype は鹿児島県の分布とは異なり、*taxA* genotype が多く、特に HAM (HTLV-1 関連脊髄症)/TSP(熱帯性痙性麻痺)患者に多いこと、ATL 患者では *taxA* genotype は少ない傾向が見られたが、aggressive ATL 患者では *taxA* 群で完全/部分寛解が低く、予後不良と関連がある可能性を示した。さらに多変量解析により危険因子を見出しているなど研究の結果が臨床と結びつく結果が得られていることは評価できる。また、沖縄の HTLV-1 の *tax* genotype が本土とは異なることからその伝播経路を解明する試みを継続していることや HTLV-1 の網羅的遺伝子解析を始めていることも今後の成果が期待できる